

## 子どもたちの実態

対象となる子どもは今、こういった状態か

- ・来日して4年も経っているし、日本語で話すのはあまり問題がないようだ。
- ・算数科でも計算問題なら6学年の問題もなんとかなっている。
- ・しかし、算数科の授業で状況から結論づけをしたり条件的に考えたりするような指示が出るとどのようにしたらよいかわからないようだ。

## 算数科の題材の決定

算数科のどの題材を使って、指導を組み立てるか

- ・具体的な指示を聞きながら作業をすることはできるだろうが、その意味と計算の意味を関連づけて理解できるだろうか。
- ・在籍学級ではそろそろ「比」の単元に入るようだ。
- ・とすると、比を簡単にするような問題ではわり算で解答はだせるだろうが意味を理解した上で解けるだろうか。難しいのではないか。

題材として「比」を選定 「学習内容一覧」の - 4 - に相当する

【参考】 - 4 - ; 知識・理解 - 4 数量の関係把握と表現 - 二量間の関係の把握

## 応用できるAU の選択

どのような言語  
表現が扱えるか

- ・比べながら観察する
- ・情報を収集する
- ・情報から結論づける
- ・命名する
- ・条件的に考える
- ・わかったことを表現する
- ・操作する
- ・作業の仕方に着目する

## 授業のアウトラインと学習活動の決定

重点をおきたいのはどこか

- ・題材「比」を使うので、重点を置くのは次の2つの活動になるだろう。
  - 学習活動2 - 算数科の問題を解くために、推論したり、帰納的に考えたり、類推したりする
  - 5 算数科の既習のことや算数科の学習を通じてわかったことを、学習や生活の問題解決に生かそうとする
- ・上記の活動に重点を置くとしてどんな支援をするとよいだろうか、どんな具体物や体験を提供すると理解が進むだろうか
  - 目で見て理解しやすい濃縮ジュースを水で薄めて「おいしいジュース」を作る操作的な活動だと具体的でわかりやすく「比」の理解が進むのではないか

## 活動に合わせた具体的な日本語表現の準備

現実の活動場面ではこういったやりとりをすれば活動が成立し理解が進むか

- ・濃さの異なるジュースを比べてみる
  - 「～と～はどちらのほうが濃いですか」、「どっちが濃い？薄い？」...
- ・ちょうどいい濃さのジュースを人数分作る時、必要な情報は何かを考える
  - 「これと同じ濃さのジュースを作るには、どうすればいいですか。何が分かるといいですか」
  - 「これと同じジュースを作るときは、水はどのくらい？ジュースは？」...
- ・2つの比の間にどういった関係があるかを考える
  - 「～だったら、～はどうでしょう」、「これとこれは同じ？違う？どうして？」...

## 指導案作成 / 教材・教具の準備